

令和8年度後期公開講義 公開科目一覧

☆試験・レポート欄 「○」:受験・提出可、「×」:受験・提出不可、該当なし

区分	番号	科目名	担当教員	曜日	講時	条件・その他	試験	レポート	定員
人間学他	1	電子社会と人間	柳澤 淳一	月	2	このテーマに興味を持っていたければ、特に必要な前提条件はありません。	×	○	5
	2	生命・人間・倫理	糸島 陽子	月	2	特になし	×	×	5
	3	ジェンダー平等をつくる	河 かおる	月	2	主にTeamsを使用して課題を出したり資料を共有します。教員側からTeams使用方法についての個別フォローはできかねることをご了解願います。	×	○	若干
	4	地域づくり人材論	上田 洋平	月	2	授業内でグループに分かれてディスカッションやワークショップを行う場合があります。そうしたディスカッションやワークショップにも参加してもらいます。	○	○	10
	5	自然のしくみA	荒木 希和子	月	3	特になし	×	○	10
環境科学部	6	動物生態学	高倉 耕一	月	2	レポート提出（2～3回）、毎回のミニテストについてはTeamsで実施しています。本学情報管理室により受講者のTeams利用が許可された場合に限り、レポート、ミニテストの提出を可とします。	○	○	若干
	7	陸域生態系保全修復論	荒木 希和子	月	2	特になし	○	○	若干
	8	環境毒性学	丸尾 雅啓	火	1	高等学校「化学基礎」程度の知識がある、履修した経験があることが望ましい。	○	○	5
	9	植物資源開発学	原田 英美子	火	4	特になし	×	○	5
	10	環境リスク解析法	肥田 嘉文	水	2	特になし	○	○	若干
	11	構造力学Ⅱ	高田 豊文	水	4	静定構造物の応用算定ができること	○	○	5
	12	水資源利用学	皆川 明子	木	2	特になし	×	×	若干
	13	地域情報処理学	岩間 憲治	金	4	特に制限は無いが、三角関数など高校数学がある程度分かると良い。	○	○	10
工学部	14	物性デバイス基礎論	一宮 正義	月	2	大学初年級の電磁気学を理解していることが望ましい	○	○	5
	15	生化学Ⅰ	竹原 宗範	火	1	高校の「化学」を理解していること	○	○	若干
	16	基礎電磁気学	小林 成貴	火	2	高校で習う物理（特に力学・電磁気学）を理解していること	×	×	3
	17	固体物性基礎	奥 健夫	火	4	特になし	○	○	5
	18	エネルギー変換工学	河崎 澄	水	1	高校物理程度の予備知識	○	○	若干
	19	半導体基礎	柳澤 淳一	水	1	初歩的な量子力学の基礎知識があることが望ましいですが、受講に必要な絶対条件ではありません。	×	○	5
	20	環境調和化学	谷本 智史	水	2	高校の化学を理解していること。	×	○	10
	21	電子と化学結合	松岡 純	水	2	高校物理と工学部1年次前期の化学と数学を履修したのと同程度の学力を前提に授業を行う。	×	○	若干
	22	流体力学Ⅰ	南川 久人	水	2	高等学校数学の微分・積分を理解している方が望ましい。	○	○	若干
	23	伝熱学	出島 一仁	水	2	特になし	○	○	3
	24	分子・統計力学	松岡 純	木	2	材料化学科1年次の数学と2年次の熱力学に関する科目を履修したのと同程度の学力を前提に授業を行う。	×	○	若干
	25	大学院科目・天然高分子材料	谷本 智史	木	2	大学2年程度の有機化学を理解していること。	×	○	5
	26	高分子物性	徳満 勝久	木	3	高校の物理・化学・数学と大学での熱力学がある程度理解できていること	×	○	若干
人間文化学部	27	空間デザイン論	佐々木 一泰	月	4	特になし	×	○	5
	28	移民社会論B	河 かおる	火	5	主にTeamsを使用して課題を出したり資料を共有します。教員側からTeams使用方法についての個別フォローはできかねることをご了解願います。	×	○	若干
	29	英米文学購読	山本 薫	水	2	予習は必ずして授業に臨んでください。留学経験のある学生、留学経験の有無にかかわらずもともと英語に自信がある学生が履修していることが多く、毎年授業のレベルは高いです。	○	×	若干
	30	民俗学	市川 秀之	水	3	特になし	×	×	特になし
	31	臨床心理学	松嶋 秀明	水	4	授業にあたっては受講生同士のディスカッションを多くとりいれております。学生にも無理強いはしておりませんので、義務的なものではありませんが、積極的にご参加いただければ幸いです。	×	○	若干
	32	中国地域文化論	横田 祥子	木	3	特になし	×	×	5
	33	アジア文化論B	河 かおる	木	4	主にTeamsを使用して課題を出したり資料を共有します。教員側からTeams使用方法についての個別フォローはできかねることをご了解願います。	×	○	若干
	34	東洋史概説	李 咳鎮	木	4	特になし	×	×	10
	35	地域と空間	市川 秀之	金	2	特になし	×	×	特になし
	36	欧米文化論D	瀬戸 貴裕	金	2	期末レポートは出さないでもよいです。	×	○	5
	37	中世近江論	高木 純一	金	3	特になし	×	×	5
	38	比較道具論	星野 祥子	金	4	授業外でのレポート作成が多い講義授業となっています。講義終了時の感想文の提出が授業毎にあります。また、2週か3週に一回のペースで、講義内容に関するレポート課題があり、大学のポータルサイトでレポートデータを提出していただく形式です。	×	○	3

【講時】 1限 9:00～10:30 2限 10:40～12:10 3限 13:10～14:40 4限 14:50～16:20 5限 16:30～18:00

【シラバスの見方】 [県立大学ホームページ](#) → [学部・大学院](#) → [シラバス](#) → [USPO](#)

大学ホームページのシラバスを参考にしてください